

1. 件名:「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター加工施設の廃止措置計画に係る現地確認について」

2. 日時: 令和2年2月21日(金)9:00~14:40

3. 場所: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センター

4. 出席者:

原子力規制庁原子力規制部研究炉等審査部門

小野安全規制管理官、菅原企画調査官、本多安全審査官

原子力規制庁上斎原原子力規制事務所 篠川副所長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター所長 他12名

5. 要旨

(1) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)から人形峠環境技術センターの概要、加工施設(ウラン濃縮原型プラント)の概要について説明を受けた。

(2) 加工施設の廃止措置計画認可申請に基づき、以下の解体撤去の対象設備、廃止措置期間中に性能を維持管理する設備について、現地確認を行った。

○第1段階での解体撤去対象設備

・カスケード設備(DOP-1、DOP-2)

・DOP-1UF₆処理設備

・滞留ウラン除去設備

・均質設備

・DOP-1 高周波電源設備

○廃止措置期間中に性能を維持管理する設備

・貯蔵施設(30B シリンダ、48Y シリンダ)

・放射性廃棄物保管エリア(IF₅、使用済 NaF)

・廃棄物貯蔵庫

・排気設備

・非常用電源設備

(3) 原子力機構より、六フッ化ウラン(UF₆)の譲渡に係る検討状況、廃止措置において解体撤去する部屋・設備の順序等について説明を受けた。

6. その他(原子力機構からの配付資料)

・国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターにおける安全規制の現状

・加工施設(ウラン濃縮原型プラント)の概要について

・加工の事業の廃止措置に関する現地視察